

アルセーフ(アルミ足場板)

特 長

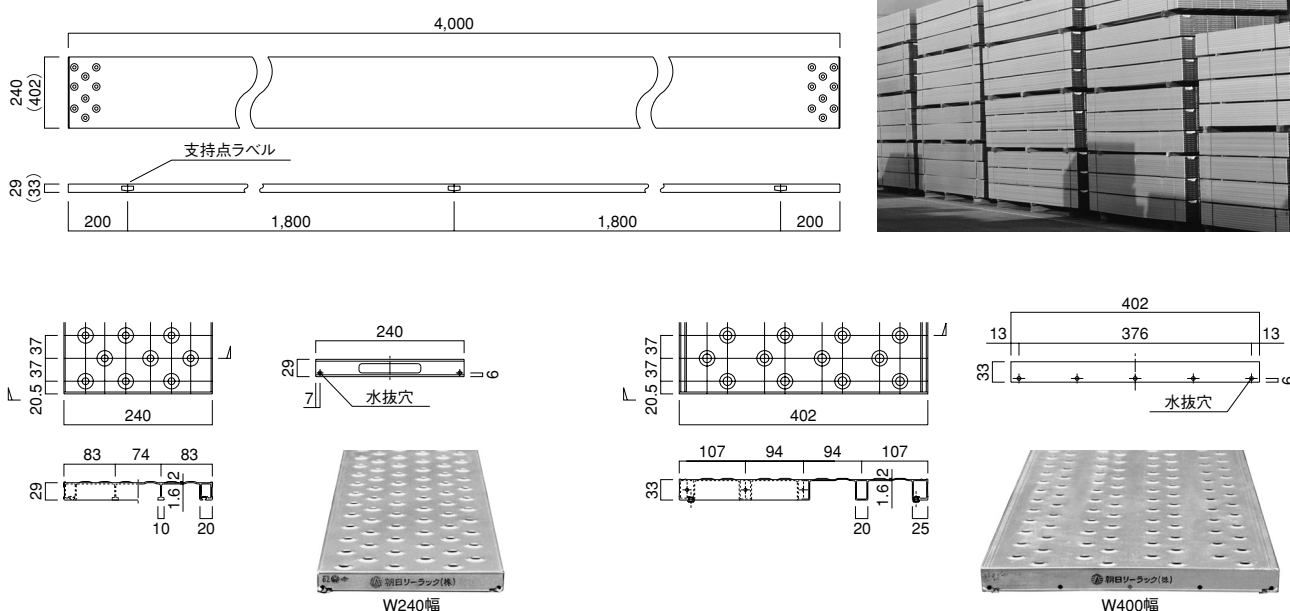
1) 最高の防滑性

表面に円周フランジ加工を施してありますので、水・油・砂等の付着や、寒冷地の冷結に対しても、防滑性が有効に働きます。また、足場板裏面には合成樹脂を取り付けてありますので、足場板が滑りません。

2) 軽くて強い

重量は合板足場板の約半分ですので、運搬架設の取り扱いが容易です。合板足場板よりも許容荷重が大きく、たわみも少ないので安心して作業ができます。特に経年変化による強度の低下が少ないことも大きな特長です。

詳細図



標準仕様

型 式	寸法 (mm)	許容荷重 (kN)	たわみ (cm)	安全率	重量 (kg)
FB-1224	29×240×1,200	2.35	—	—	3.0
FB-2024	29×240×2,000	1.18	2.3	3.0	5.1
FB-3024	29×240×3,000	1.18	2.3	3.0	7.6
FB-4024	29×240×4,000	1.18	2.3	3.0	10.1
FB-1240	33×402×1,200	2.35	—	—	5.0
FB-2040	33×402×2,000	2.16	1.8	2.5以上	7.6
FB-3040	33×402×3,000	2.16	1.8	2.5以上	12.0
FB-4040	33×402×4,000	2.16	1.8	2.5以上	16.0

取扱上の注意

- 吊り上げ吊り下ろし作業：必ず2点吊り以上とし、角のワイヤーの当たる所には当木を添えて下さい。
- 運搬：トラック運送のときは25枚重ねで2段積み以下とし、ワイヤーの当たる所には必ず当木を添えて下さい。
- 仮置き：現場に仮置きするときには、凸部の上に置かないようにし、必ず等間隔に敷バタなどを入れて下さい。また、荷くずれを起こさないためにも使用時まで梱包バンドは切らないで下さい。
- 接地方法：番線又はゴムバンドで3点以上で固定し、支持間隔は1.8m以下として下さい。支点からの突出部長さは10cm以上20cm以下にして下さい。また、2m以上の高所作業床として使用する場合は、2枚並べて使用して下さい。
- 許容荷重(静的)：荷揚げ構台などの支持間隔は、次の許容荷重を考慮して下さい。許容荷重を超えた荷重をのせしないで下さい。
- 傾斜：傾斜させて使用する場合(15°以上)は栈木をつけるなど、滑り止めを設けて下さい。
- 道板・敷板：重量物の道板や、足場ベースの敷板として使用しないで下さい。

支持間隔	許容荷重 (kN)	(中央集中荷重)
0.9m	2.35	(240kgf)
1.2m	1.72	(175kgf)
1.5m	1.37	(140kgf)
1.8m	1.18	(120kgf)